



Active

2021年度
自主保全士優秀者
表彰式記念冊子



index >>>

1	会長あいさつ	2
	公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 会長 サントリープロダクツ株式会社 顧問 垣見 吉彦 氏	
2	委員長あいさつ	3
	公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 副会長・資格認定委員会 委員長 トヨタ自動車株式会社 Executive Fellow 河合 満 氏	
3	自主保全士検定試験 企業の取り組み事例	
	①マツダ株式会社 本社工場 第3パワートレイン製造部 TPM推進室 守江 晴彦 氏	4
	②トヨタ自動車株式会社 グローバル生産推進センター 保全マネジメント・支援室 室長 山本 孝司 氏	7
	③テイカ製薬株式会社 生産本部 米澤 忍 氏	10
	④YKK株式会社 製造・技術本部 生産技術部 開発推進室 製造基盤強化G 中出 秀良 氏	12
4	成績優秀者の声	
	2021年度 自主保全士検定 成績優秀者	14
5	2021年度 自主保全士検定試験 実施報告	24

自主保全士検定 成績優秀者への激励

公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 会長
(サントリープロダクツ株式会社・顧問)

垣見 吉彦 氏

「自主保全士検定試験」において、成績優秀者ならびに成績優秀者を多数輩出された企業の皆様、心からお慶び申し上げます。

自主保全士認定制度は2001年度にスタートし、累計の受験者数は約32万人、認定者数は約20万人となり、自動車、食品、化学、鉄鋼などの幅広い業種にわたって利用いただいております。

2021年度の検定試験では、新型コロナウイルスの影響の中にも関わらず、前年度より受験者が増加し、1,390人多い13,520名の方に受験をしていただきました。

近年、日本の生産労働人口が減少傾向にある中において、製造業では生産性を強化するため、生産現場のデジタル化が積極的に推進され、生産現場は大きく変化しております。

皆様の自主保全活動が、より一層安全で良品を生み出す生産性の高い生産現場の実現に大きく寄与される事が、強く期待されています。

本来であれば、「第21回自主保全士検定試験」において、優秀な成績を収められた皆様の功績を称え、式典の場でお祝いの言葉をお贈りしたいと考えておりましたが、昨年に続き、新型コロナウイルスの影響により、誠に残念ではございますが、表彰式開催を見合わせする次第となりました。

表彰式に代わり、成績優秀者を多数輩出された企業における自主保全士への取組事例や成績優秀者の皆様の喜びの声、そして、これから自主保全士取得を目指す方や既に取得している方に役立つアドバイス・メッセージを多数いただきましたので、本誌に掲載させていただきました。皆様のご参考になれば幸いです。

今回、自主保全士認定を受けられた皆様が、製造現場でのご自身の役割に誇りを持ち、「設備に強いオペレーター」となることで、現場の中核人材としてより一層のご活躍されることを心より願っております。

最後になりますが、改めまして、成績優秀者表彰をお受けになる成績優秀者の皆様と各企業の皆様に、心からお祝い申し上げます。



※役職は2022年4月1日時点

ものづくり現場力の 次世代のキーマンとして

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
副会長 資格認定委員会委員長
(トヨタ自動車株式会社 Executive Fellow)

河合 満 氏

2021年度「自主保全士検定試験」成績優秀者となりました74名の方々に、心よりお祝いを申し上げます。

2001年に創設された「自主保全士」は、現場に強いオペレーターの育成に有効な資格として評価され、累計で約32万人の方に受験いただいています。自主保全士検定試験を通じ、皆さんが学んできた努力の結果として成績優秀者という今回の表彰は、皆さんの職場・会社だけではなく、我が国モノづくり産業にとっても大きな財産です。現在のモノづくり現場では、オペレーターも自分たちで保全をする・「自分たちの設備は自分たちで守る」という自主保全は、“当たり前”となっています。この当たり前となっている自主保全をしっかりと意識して取り組む事ができる皆さんを、非常に頼もしく思います。

私は、トヨタ自動車に1966年に入社し、鍛造の職場に入りました。そこでは、品質を造り込むには、設備保全を欠かすことは出来ず、自主保全が大切であると痛感いたしました。翌年1967年には、トヨタ自動車はPM優秀事業場賞(現:TPM優秀賞)を受賞いたしました。その後も、工場・現場はTPMを継続しており、世界中のユニット工場では、3本柱活動と称し「標準作業の徹底と改訂」「自主保全」「加工点マネジメント」という形で発展的な取り組みを行っています。2015年には、インドのトヨタ・キルロスカ・オートパーツ社がTPM優秀賞を受賞しました。不良率の低減による品質向上、可動率の向上といった成果が表れ、現場での活動が楽しく継続できるようになっています。

近年、現場ではIoT等による高度な設備が増えていますが、そうした設備をいかに効率良く使うかは“人”です。設備の仕組み・構造を知りつくし、診断し不具合を見つけ改善する事も大切なスキルであると思います。

皆さんの職場においても自主保全に真剣に取り組むことで、現場での安全・生産性・品質は更に向上し、技術の進歩にも先んじた現場となります。最新の技術革新を活用した自動化・デジタル化は、皆さんの技能と知識が上手く活用された結果として行われるものです。モノづくりの将来は皆さんに支えられています。

最後になりますが、改めて今回、成績優秀者表彰を受けられた皆さんには、モノづくりの現場が直面する大きな変化に対応し、現場をさらに進化させる技能と知識を持った、次世代のキーマンとしての活躍を心より期待いたします。



01

自主保全士検定試験 企業の取り組み事例

マツダ株式会社 本社工場

第3パワートレイン製造部

TPM推進室

守江 晴彦 氏



自主保全士の本当の楽しさ追求

私の夢(自己紹介)

小学生の頃、テレビ画面から目に飛び込む俳優・水谷豊さん役の教師に憧れ「教師になる」のが夢でした。道に迷いマツダ本社工場で働きながら35年「自分の夢を簡単にあきらめられるか」と思い続けた今、900人規模の素材部門で人財育成・TPM推進の先生となりました。教師ではないけれど先生としての役割を持ち「人の成長」という「人の変化」を感じています。マツダ本社工場では毎年400人を超える自主保全士が誕生「自分の設備は自分で守る自主保全を企業文化として根付かせる」夢の続きができました。

背景(マツダのS自主保全活動)

1991年防府工場を皮切りに、1992年三次工場と自主保全を始めた歴史があります。25年が経過し維持管理力の弱さが現場力を低下させている実態がありました。2018年4月、本社工場8,000人トップの工場長の本気度が「S自主保全活動」をキックオフさせ原点回帰を誓いました。ストレート生産(S)を支える(S)、社員(S)のしあわせ(S)、真(S)の原理自主保全、たくさんの思いを込めたS、この活動を推進するのが自主保全士です。

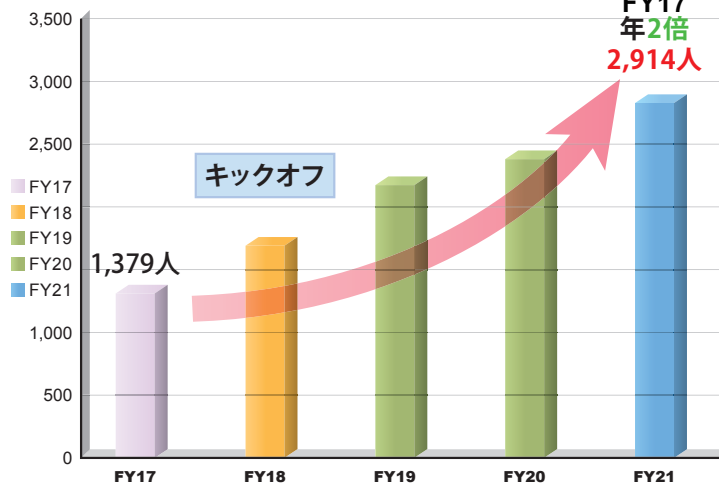
ブーム資格「自主保全士」の育成

本社工場には2,914人の自主保全士(占有率42%)がいます。工場長の率先垂範で盛り上がり2017年比2倍のブーム資格になりました。部単位で講師を任命、形式的な読み合わせではなく、実力模擬テストで己を知り弱点部分を徹底的に強化する勉強会を開催しています。まるでドラマ「ドラゴン桜」のような「一人ひとりに寄り添った」やる腕づくりの場を演出するのも自主保全士です。



「1級」合格
向田本社工場長(当時)

「自主保全士」の推移



勉強会

自主保全士(サークル)のバラツキ

資格を取れば一気に活動が進み、自分では「元気ある人」を見て皆が同様に進めているはず、定着しているつもりでいましたが「はずは外れる、つもりは積もらない」大きな壁に直面しました。「自分が見ている世界がすべてではない、気が付いていないことにチャンスがある」練り歩き対話で、いつしか「自主保全士の変化」に気づきました。明るく楽しく元気よくイキイキ能動的で笑顔がある人、一方でブスッと「不機嫌」言われたことだけをやる人。合格したときは異口同音「知識と技能を発揮します」と言っていたましたが、この差がどこからくるのか？練り歩き対話で出した私なりの答え、それは地道な継続に必要なものは「心メンタル」の手入れであるということです。「順化」同じことの繰り返しで気持ち感情が下がり、パフォーマンスを下けている。私は求められる自主保全士像が大きく変わってきていることを強く感じます。自主保全を企業文化として根付かせるために「自主保全士の本当の楽しさ」を語れる人を今、マツダは求めています。

自主保全士の心を込めた「S自主保全活動」

2011年サッカー女子日本代表「なでしこジャパン」のエピソードです。ワールドカップ優勝が目標(有形)とする一方で、震災にあわれた方々を勇気づけること(無形)が目的となり大きな源泉になったそうです。改めて「人は誰かの何かのためにがんばれる」この真理に立ち返り「自主保全をやる」なぜ本気でそう思うのか、「自主保全やろうよ」なぜあなたを誘うのか、無形にも目を向けることで「本当の楽しさ」にやっと気づけました。「存在感や仲間との繋がりを感じられるサークルで、自分自身がそしてサークル同士が競争と達成感を味わうことができる」自主保全士の楽しさを自分なりの言葉で全身全霊伝えていきます。資格取得が目的、やらされ感があつた自主保全士が、小さなゴール些細な目的目標の成功体験や経験で「今が一番楽しい」同志が増えています。有形だけでなく、その過程の困難や努力を共にした仲間との無形に真(S)の価値があると思います。

最後に

本社工場には年1回、自分の働く職場へご家族を招待する「家族工場見学会」があります。設備は古くてもピカピカだ、苦楽を共にする仲間がそばにいるぞ「家族への感謝ありがとう」を言いたい、この世界を演出できるのが自主保全士です。みなさん想像してみてください。素晴らしいと思いませんか。自分なりの楽しさが「腑に落ちた心からの自主保全」に繋がること、今の自分の状況はこれまでしてきた自分の選択と行動であり、自主保全士が「本当の楽しさに気づくことこそ、活動を続ける上で最大の武器」になると思います。コロナ禍でこの2年間、家族工場見学会を中止しています。復活の日を思いめぐらしながら、自分の設備を意のままに操る自主保全「人馬一体」を歎びと感じて、これからも楽しみ続けます。

「自主保全士」最大の喜び



02 自主保全士検定試験 企業の取り組み事例

トヨタ自動車株式会社
グローバル生産推進センター
保全マネジメント・支援室 室長

山本 孝司 氏



自主保全は人づくりしくみづくり

自主保全活動って何？

この度は、昨年に続き団体賞を授与頂き、深く感謝致しております。ありがとうございます。タイトルにもある通り、自主保全活動は人材育成そのものだと思いますでしょうか？清掃作業にて微欠陥、給油作業で適正適量、増締め作業で静的精度を知り、活動を通じてどんどん知見が高まっていきます。と同時に、自主保全活動は「仲間を大事に思い、仕事を楽にする」活動でもあります。トヨタの企業風土として面倒見というものがあります。目の前の状態を見て、それを家族の様に自分事として捉え自分ならどうするか考えます。作業を進める上での困り事を聞き、現場での状態を確認し、一緒になって改善を進めます。この面倒見の風土が自主保全活動をも支えています。自主保全活動を進めるための要素を4つ「人」「設備」「しくみ」「環境」の観点から人材育成との関係を整理して見てみます。

トヨタの自主保全活動

人への面倒見

自主保全活動を進めるための小集団活動は「人」とのつながりが重要で、この活動を通じてパーソナルスキルの向上につながります。メンバーの活動を引っ張るリーダーシップ、他部署との連携、調整などで必要となる折衝力を活動を通じ育んでいます。

設備への面倒見

活動対象となる「設備」に対し、自主保全活動を進めると安全性や専門スキルの向上につながります。

安全な正しい設備の停め方、原理原則に基づいた点検における摩耗限度の理解や適正給油量など設備を正しく理解することができ、自分達の設備への愛着も湧いてきます。

しくみへの面倒見

メンバー誰もが活動を正しく理解し、個々として、組織として最大のパフォーマンスが発揮できるように活動を「しくみ」化します。その事例を紹介します。

機械加工系の多くの職場では、自主保全活動時間を午後の業務開始時に10分から15分程度放送の案内と共に作業を開始します。その活動を標準化するツールの1つが自主保全ボードです。



自主保全ボード(5W1Hで実施事項整理)



「教え教えられ」風景

全社統一の活動ボードはございませんが、やるべき点検項目の状況が見える化されており、各職場のニーズにあったフォーマットにて実施しています。また、ある製造課では、課の方針の中にオペレータの「自主保全人材育成サイクルの構築」を織り込み活動を推進しております。具体的には、6ヶ月から1年間保全職場で修行を行ない、自職場へ戻ってメンバーへ教える。更にその教えられた

メンバーが修行へ出かけ、戻って来たら他のメンバーを教える。といった「教え教えられ」のサイクルを繰り返します。

環境への面倒見

自主保全活動が進展するための「環境」を整備することで誰でもやり易く参加しやすい状態を作ります。そのためには育成機会の確保が重要と考えております。

1つ目は、「正しい活動の知識」を得るために、自主保全士検定試験の取得を進めております。基本的には自己研鑽の位置づけですが、受験し易い環境を整えております。受験希望者が社内Webを利用し、自ら受験級や会場を指定するなど必要事項を簡単に入力できるよう工夫し、我々全社事務局が一括して申し込みができるようにしました。これにより受験者の把握が容易になり、管理工数も低減できました。

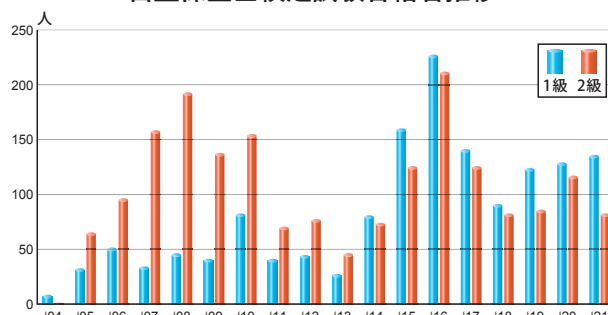
また、2つ目として「正しい作業」の修得ですが、これをできるようにするには保全部署との協業も欠かせません。保全部署から基本条件の維持の具体的なやり方を教えてもらいながら進めています。

3つ目は、作業にあたっては、その内容により「社内資格(指名業務)取得」が必要となる作業もありますので計画的な取得を進めます。

成績優秀者表彰式

自主保全士検定試験の成績優秀者を称えるため、今回全社レベルで社内優秀者表彰式を行いました。JIPM副会長・資格認定委員会委員長でもある河合おやじから表彰状とメダルを授与頂いた後、成績優秀者に対し「自主保全活動のリーダーとして職場をけん引していくように」と激励されました。また、優秀者からは「今回の受賞はモチベーションアップにつながる。今後も正しい知識を元に活動を継続すると共に後輩も続くよう職場内を活性化させていきたい」という心強い言葉がありました。

自主保全士検定試験合格者推移



社内成績優秀者表彰式

まとめ

人が育てば自ずとして活動は進みます。活動が進めば人が育ちます。
そんなサイクルが回るよう地に足をつけて、じっくり活動を進めたいと思います。

03 自主保全士検定試験 企業の取り組み事例

テイカ製薬株式会社 生産本部 米澤 忍 氏



自主保全活動への取り組み

はじめに

弊社における自主保全活動への取り組みについて紹介いたします。

弊社での改善活動は『5S活動』として2014年度より開始しました。改善活動はそれまでも行ってきましたが、一旦原点に立ち返るために基本の5Sを押えることとしました。なお、弊社では『5S』を『整理』・『整頓』・『清掃』・『清潔』・『習慣』と解釈しています。一般に最後のSは『躰』ですが、『躰』という言葉には上位から下位へのニュアンスが強いため、自分自身で身につけていく『習慣』としています。

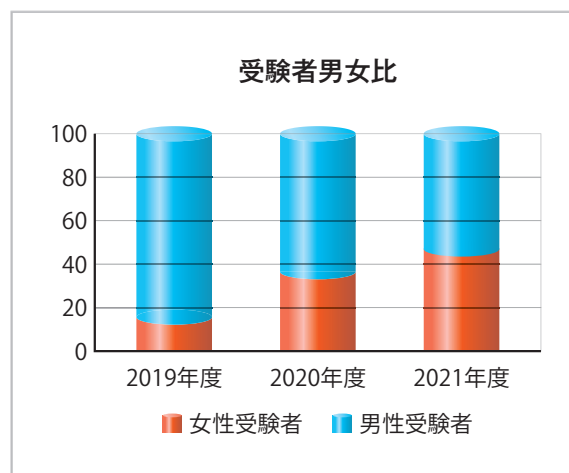
この5S活動も数年を経て定着してきたことから、次の段階としてより設備に特化したものへの移行を模索しました。この時に『自主保全』および『TPM』という言葉を知り、2019年度より『TPM活動』として新たにスタートさせました。評価指標は一般的な『時間稼働率』、『性能稼働率』、『良品率』ですが、まずはこれらの用語を社内に浸透させる必要があり、その方法の一つとして製造部門を中心に自主保全士を受験することにしました。

受験サポート

受験のサポートとして、市販テキストの配布、エンジニアリング会社による短期受験対策セミナーの社内実施および受験申請などの事務手続きの会社一元対応などを行っています。

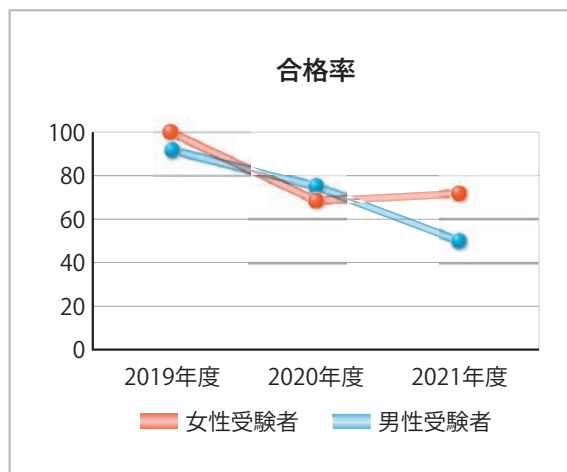
結果として、初年度の2019年度は受験者31名中29名、続く2020年度は43名中32名、2021年度は30名中20名が合格しました。

初年度の2019年度は管理職や製造工程の責任者を中心に受験することにしましたが、製造現場の女性リーダーにも受験を勧めました。弊社製造部門は約75%が女性であり、女性の能力向上が製造部門の業績向上に欠かせないと考え



たからです。家庭での仕事も多いため受験勉強の時間も取りにくかったと想像されますが、受験した女性全員は見事合格し、弊社にとって先駆けとなりました。その後の女性受験者増加にも繋がり、合格率は男性を上回るようになりました。とても単純なことです。が、受験の合格は自信に繋がり、モチベーションの向上、周りへの良い影響となったものと思います。

もちろん、前述のとおり受験の目的は資格を得ることではなく、受験勉強を通じてTPMに必要な知識を得ることです。そのため、合格には至らなかった受験者も一定の知識は得たものと考えられます。



設備保全

自主保全士の受験によって知識を得ることはできても実際の保全作業にはスキルが必要です。そのため、エンジニアリング会社に依頼して実地の整備に関するセミナーを開催し、故障機器の修理方法などを学んでいます。その成果としてこれまで故障した場合に買い替えていた機器も分解修理ができるようになり、経費削減につながっています。さらに製品ごとの設備の型替え作業の動画を手順書に紐づけるシステムを検討しており、作業精度や作業時間の均一化にも取り組んでいます。



自主保全活動風景

おわりに

自主保全士の受験では自分の時間を削って勉強に充てる必要があります。しかし、合格時には自信やモチベーションアップに繋がり、合格には至らなくても受験勉強を通じて学ぶTPMや工程改善などの知識は製造部門にとって価値のあるものです。

今後も自主保全の知識と現場スキルを両輪として『設備に強いオペレーター』を一人でも多く育成していきたいと考えています。

04 自主保全士検定試験 企業の取り組み事例

YKK株式会社

製造・技術本部 生産技術部

開発推進室 製造基盤強化G

中出 秀良 氏



TPM活動の取組

はじめに

この度、自主保全士検定における団体表彰という栄誉を頂きまして、誠に光栄でございます。日頃のTPM活動とその人材育成(YKKでは人材をこのように表記)への姿勢がこのような結果に結びついたものと思っております。当社のTPMに携わるすべてのスタッフを代表し、感謝申し上げます。

YKK株式会社のTPM活動

当社でTPM活動を開始したのは2002年でした。その当時は安全面に特化した形で設備の不安全箇所に焦点を当て、一部の設備に限った活動に留まっていた。その後2007年にこの手法を安全面だけに留まらず、YKKとしてTPM活動を通じた設備のメンテナンス、あるべき姿の追求とその具現化に繋げるために、あらゆるロス・不具合を顕在化し、自主保全活動、個別改善活動に展開してきました。2008年に日本工場でキックオフ大会を開催、現在では日本工場を含めて海外15工場まで拡大しています。その活動の統一目標として設備総合効率向上があります。モデルラインを選定、各社それぞれに目標を掲げ、達成に向けて取り組んでいます。

TPM世界大会

活動の活性化を目指して、2011年より海外各社の代表サークルを日本に集め、日頃の活動を発表するTPM世界大会を開催しています。大会には11～14工場の参加があり、英語、中国語のみならず韓国語、ベトナム語と海外各社の言語で発表し、YKKならではの国際色の濃い大会となっています。また発表会だけでなく、日頃の苦勞や悩み、相談事を参加国で共有し、コミュニケーションの場にもなっています。現在まで大会は9回を数え、2021年度はコロナ禍の中、リモートで初めて開催しました。

この困難な状況下に於いても各社継続した活動を行っており、それに対して成果発表の場を設ける必要を感じました。また併せて経営層からもこの大会への期待も感じました。

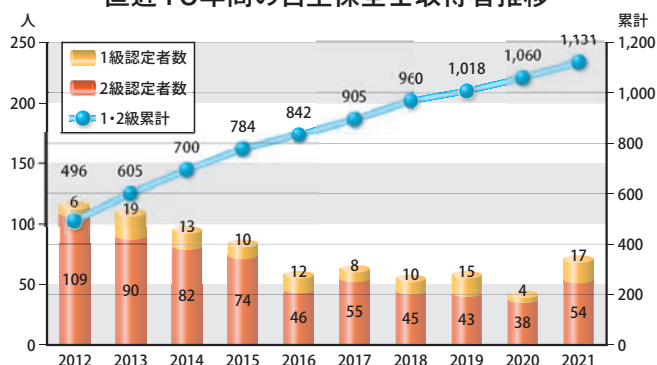
人財育成(自主保全士検定)

TPM活動を支える人財の育成、設備に強いオペレーターとして自主保全士資格取得があります。2005年より資格取得に挑戦し、その為にOFF-JTとして「TPM道場」という締結、潤滑油、駆動、油・空圧、電気の保全基礎教育を行いました。現在はTPM活動のみならずものづくりの基礎道場として形を変え、講習内容を実務に直結し、項目に絞ったコンパクトな講習会となっています。またOJTとして各職場でのTPM自主保全・個別改善活動への参加、外部講師による指導会を開催しました。試験対策として当初は外部、内部講師による過去問を中心とした講習会を実施しました。現在は有資格者数自体が十分に増えてきていること、合格率についても問題ない数値であることより、現在はテキスト配布のみの自主学習にて対応となっています。受験者は2級取得に留まらず積極的に1級にも挑戦しています。自主保全士資格を取得した方はTPM活動のサークルリーダーとして活躍するように仕掛けており、サークル内でローテーションを組んで活動全体の底上げを図っています。

製造現場では自主保全士の資格を持ち、サークル活動でリーダーとして実績を積み、内容を熟知したTPM伝道師と呼ばれる方が定期的に現場を訪問しサークルの声を聴き、アドバイスを行っています。現場に寄り添って対応することは伝道師の重要な役割です。現職の方が既に10年以上担当し、次の世代の人財を育成すべく人選を行い、講習会開催を進めています。

グローバル人財の育成としての自主保全士資格取得の側面もあります。海外へ赴任される方はTPM活動を習熟した上で、現地での活動支援を行います。現地でもTPM手法、つまり設備のあるべき姿と現状のギャップによるロス把握、そのロス(不具合)対応による設備の改善、維持活動を通してTPM活動の活性化、設備総合効率向上を指揮し、活躍することを期待しています。

直近10年間の自主保全士取得者推移



座学風景



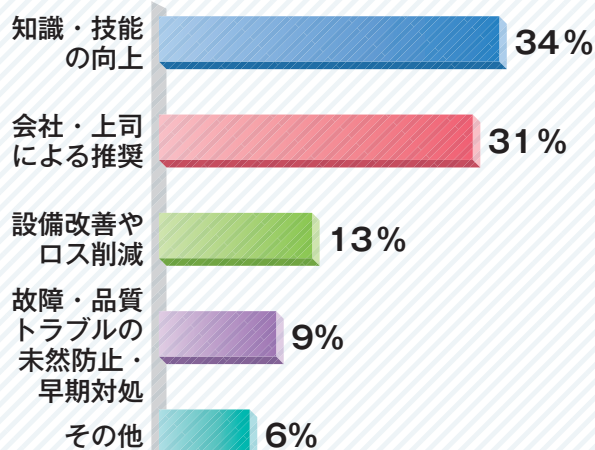
実技風景

2021年度の成績優秀者の皆様にコメントをいただきました!!

1. 自主保全士検定試験を受験したきっかけ(動機)
2. 合格に向けた取り組み(学習方法)
3. 成績優秀者受賞のよろこびの声(受賞の感想、今後の抱負など)

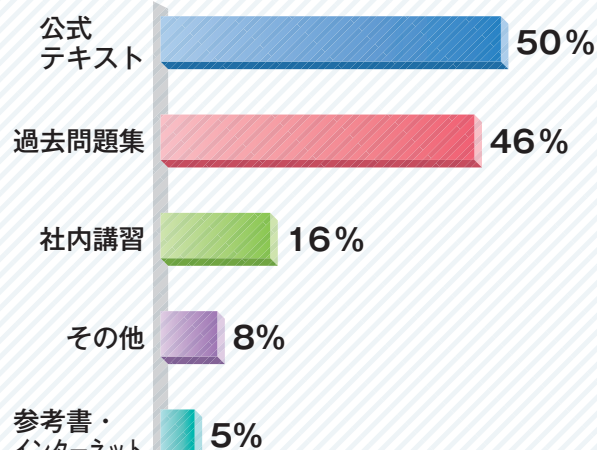
※掲載は企業名の五十音順です。

自主保全士検定試験を受験したきっかけ(動機)



※複数回答

合格に向けた取り組み(学習方法)



※複数回答

愛三工業株式会社

伊能 光太郎さん(2級)



1. 上司に勧められて自主保全士検定試験を受験しました。
2. 過去問題と公式テキストで勉強しました。また会社の講習時でのポイントを重点的に復習しました。
3. 成績優秀に選出され、とにかく驚きました！今後は学んだことを活かし、職場での改善につなげていきたいです！

愛三工業株式会社

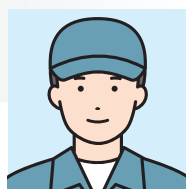
永井 亮利さん(2級)



1. 監督者となり自主保全を推進していくうえで、自信と活動意欲を増すために受験を希望した。
2. 本社TPM推進の先生に事前教育を実施していただき、授業内容を繰り返し復習して受験に臨みました。
3. このような素晴らしい賞をいただき、とても嬉しく思います。自主保全を進めていくうえで自分自身の自信になりました。自主保全の考え方とやり方により良い職場づくりを推進していこうと思います。

株式会社アイシン

鈴木 孝宏さん(2級)



1. 自主保全士の資格を取得することにより、自身の業務の幅が広がると思い受験しました。
2. 過去6年分の問題を繰り返し解くことにより苦手な項目を洗い出し、苦手な項目に関して公式テキストを読み直して再度問題を解くことで苦手をなくす勉強をしました。
3. 自主保全士検定試験に合格することができ嬉しいです。自主保全士検定試験で得た知識を活かし自職場で設備のオペレーターとして仕事をしていきたいと思っています

株式会社アイシン

阪野 直也さん(2級)



1. 職場からの推薦に加え、自身の保全知識を向上させ職場での自主保全活動や改善活動に活かせたらと思い、受験しました。
2. 公式テキストを熟読し、その後過去問題集を繰り返しといて学習しました。わからなかった所は公式テキストを読み返して復習を行い、上司に質問して理解を深めました。
3. 成績優秀者に選ばれたことを大変光栄に思います。今回学習したことで得られた知識を職場の自主保全活動でしっかり活かせるよう、努力していきたいと思っています。

アイシン九州株式会社
本田 貴志さん(2級)



1. 会社の受験募集と社内で受験可能なこともあり、製造オペレーターとしてスキル把握と足りていない知識を学ぶために受験しました。また、社内に従業員を支援する制度もあり、技能検定や品質管理検定にもチャレンジしております。
2. 過去問題を解いてみて、わからなかった問題に対して参考書で勉強し、内容を理解することを繰り返し行い学習しました。社内で勉強会や模擬検定が開催されており、更に理解を深める場も設けられています。
3. 成績優秀者を目標に掲げ、満点とはいきませんが成績優秀者に選出いただき、嬉しく思います。次は、1級でも「成績優秀者」を受賞できるように知識の習得に励み、職場の3本柱活動に活かせるよう務めていきます。

エヌティー精密株式会社
井上 賢治さん(2級)



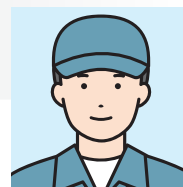
1. 現在の業務をするうえで、自主保全士検定試験の知識が役立つと考えたからです。
2. まずは公式テキストを一通り読み、わからない部分を洗い出しました。その部分についてはネットや他の参考書を活用し調べ、一つずつ理解するようにしていきました。その後は全体的に何度も反復し学習をしました。
3. 受賞出来るとは考えていなかったため、本当に嬉しく思います。今後は受験の学習で得た知識を単なる知識としてではなく、業務に活かせるようにしていきたいと考えています。

産業振興株式会社
稲葉 純一さん(2級)



1. 社内で人材育成の一環として実施している設備管理研修の中で、研修生に対して保全スキル向上のため、自主保全士取得を奨励していることもあり受験しました。
2. 会社で資格取得に向けて講習があり、講師より実物による技術的な内容や、テキストや過去問題に沿って自主保全の知識を学習指導していただきました。
3. 成績優秀者を受賞できたこと大変嬉しく思います。これも、日々時間を作って指導していただいた講師、先輩方のおかげです。今後は得た経験や知識を活かせるよう職場での保全活動に努めたいと思います。

会津オリンパス株式会社
三浦 琢也さん(2級)



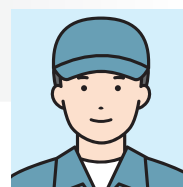
1. 社内で推奨している資格であり、自主保全について調べてみると設備を動かすオペレーターや保全担当者だけでなく、技術部門でも重要な考え方であることを知り、それを学ぶために受験しました。
2. 過去問題集(学科・実技)を購入し、繰り返し問題を解きました。その中で初めて聞く用語、間違えた項目を調べるという方法を取りました。また、今回は自主保全士2級を受験しましたが、1級の問題も解くようにしていました。
3. 成績優秀者に選出いただきありがとうございます。受験するからには100点を目指して学習したので、その成果が出て嬉しかったです。学んだ知識を職場で活用し、更なる知識向上のために自主保全士1級に挑戦したいと考えています。

株式会社小松製作所
並木 利正さん(2級)



1. 機械加工設備に携わっていながら、自身の保全知識が不十分と感じていたところ、会社全体の取り組み・上司からの勧めもあり、これを機に自主保全の基礎知識を学びたいと思い受験しました。
2. 自主保全士の公式テキストと過去問題集を購入し、無理のない計画を立て、日々の業務と照らし合わせながら時間を有効に活用して勉強を行いました。職場でも勉強会を開いてくださり、配布されたフォローアップ資料をしっかりと読み込みました。
3. 成績優秀者に選出されると思っていたので、大変嬉しく思います。勉強会資料が知識の定着に繋がったと感じており、とても感謝しています。今後は身に付けた知識を復習して、職場内でも共有・活用していきたいです。

産業振興株式会社
野中 慶起さん(2級)



1. 会社の人材育成の一環として行われている設備管理研修の中で受験を勧められ、自主保全の知識が職場内にある設備の保全をする際に活かせると思い受験しました。
2. 公式テキストを熟読して、過去問を解いていき、間違ったり分からない項目を上司や諸先輩方に聞いたり、実物がどういった物なのかを見せていただき理解を深めることが出来ました。
3. 上司や諸先輩方のご指導のおかげで成績優秀者に選ばれることができました。ありがとうございます。次回受験する自主保全士1級でも良い結果が残せるよう頑張ります。

サンデン・リテールシステム株式会社
猪巻 博樹さん(2級)



1. 弊社では能力向上を目的として、自主保全士の資格取得を推奨しております。
製造部の教育関連の事務局として、資格取得にチャレンジしました。
2. 社内エキスパートによる講習会の受講。公式テキストの読み込みと、過去5回分の過去問題集を繰り返し行うことで、理解度を高めました。
3. 社内講師の方や、会社の支援により今回成績優秀者を受賞させていただきました。今回学習したことを業務面で活かすとともに、職場内の能力向上に取り組んで参ります。

住友電気工業株式会社
廣池 竜弥さん(2級)



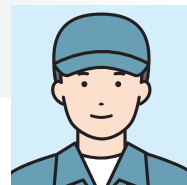
1. 入社後、本配属が決まった年に自主保全士検定試験を受験することが決まっているため受験しました。
2. 昼休みに時間を決めて公式テキストを読みました。
3. 当社(グループ)では成績優秀者が初受賞となり、とても名誉で嬉しく思います。

住友電工ウインテック株式会社
四津 和博さん(2級)



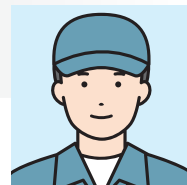
1. 製造に携わる者に必要な理論と実践を学べると思い受験を決意しました。また、学ぶ過程において変化を感じ取る感性を身に付けたり、あるべき姿を追及することも自身のステップアップになると考えたことも動機の一つです。
2. 参考書を読み、そもそも自主保全とは何か? から学習を始めました。各項目の例示を実際に自身の作業に落とし込むことによって、より具体的に考えることができ、知識として習得しやすくなりました。
3. 少しずつ知識を深めた結果、成績優秀者として選出いただき大変ありがたく思います。今後は試験を通じて得た理論と実践を自身の職場にも活かし、よりよい職場環境を作っていけるよう日々努力していきたいと思っています。

株式会社信越マグネット
山内 俊治さん(2級)



1. 現場オペレーターも設備トラブルに対する知識や適切な対応が必要とされる中、社内の情報で自主保全士検定試験を知り、自己スキルアップを兼ねて挑戦しようと思いました。
2. 社内で定期的に行われる講習で基礎的な知識を学びました。あとはひたすら過去問を解いて、解らない部分は公式テキストを読み返し内容を深く理解することに努めました。
3. 受賞を知り、自信になったと同時に自主保全士1級にも挑戦したいと考え、自主保全士オンライン試験にて自主保全士1級にも合格することができました。今回体得したことを職場で共有し、全員のレベルアップに繋げることで生産性を更に向上させて会社に貢献できればと考えています。

スズキ株式会社
渡辺 泰成さん(2級)



1. 会社で自主保全士取得を推奨しており、上司からの勧めと自主保全を学びスキルアップをすることで、設備の維持向上や改善に繋がると思い受験しました。
2. 社内講習に参加し、そこで教えてもらった要点をまとめ学科過去問題集と実技過去問題集を繰り返し解きました。
間違えた問題は理解出来るまで公式テキストを読み返し内容を覚えめました。
3. 成績優秀者に選ばれたことを大変嬉しく思います。今回学習したことで得られた知識を今後の自主保全活動に活かし、生産性向上に繋げていきます。



株式会社SUBARU

河田 俊哉さん(2級)



- 1.先輩方が自主保全士資格を取得していたので、自分も受験しようと思いました。
- 2.先輩に公式テキストと過去の問題をもらい、公式テキストを見ながら過去の問題を解くというのを繰り返し行いました。
- 3.このような賞があるというのを知らなかったのが驚きました。
これからのいろいろな資格取得に向けて勉強していきたいです。

株式会社SUBARU

門杉 涼平さん(2級)



- 1.作業、自主点検、改善など、日々業務の中で自ら仕組みや現状把握、原因の追究が求められたり、応援者に教える場面も増え、一歩踏み込んだ所まで理解し論理的な説明ができるようになりたいと思い受験しました。
- 2.「自主保全士公式テキスト」を読み込み、過去問題を解き、間違えた場所をテキストやネットを使い繰り返し復習し、覚えにくい用語や数字は語呂合わせやリズムで暗記しました。また職場の講習会に参加したことで緊張感を持つことができ、モチベーションの向上に繋がりました。
- 3.素晴らしい賞をいただきありがとうございます。
学んだ知識を職場で活かし、次は「自主保全士1級」で成績優秀者を目指し努力したいです。

株式会社SUBARU

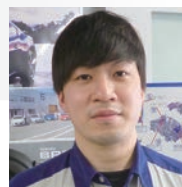
熊谷 亮汰さん(1級)



- 1.TPM活動のリーダーとして、自らの能力向上を目的に受験を致しました。生産活動には欠かせない稼働率やロス分析等を理解し、ライン内の無駄を撲滅し見える化を推進したいと考えたからです。
- 2.公式テキストを一度確認し、自分の苦手や覚えにくい項目の洗い出しを行いました。洗い出した項目を重点的に復習、覚えにくい項目は文章で覚えるのではなく現場での活動に置き換え学習を進めました。
- 3.成績優秀者(上位成績)になれたことは素直に嬉しいです。今回学んだ知識を班員全員に教えられる様にと、班員全員が自主保全士資格を取得できる様に勉強会を実施したいと思います。

株式会社SUBARU

久保田 康大さん(1級)



- 1.私自身が製造現場に従事しており、製造オペレーターとしての知識・技術を学習して習得することで自身のスキルアップのために受験しました。
- 2.自主保全士公式テキストを読み込み、活用しながら過去問を繰り返し何度も解き学習して行きました。
間違えた所、不明点があった場合、その都度テキストを確認し復習を行い理解して行きました。
- 3.成績優秀者として合格したことを大変嬉しく思います。努力したことが結果に繋がり自信ができました。
今回得た知識、経験を職場でも活かしていけるように、今後も努力していきます。

株式会社SUBARU

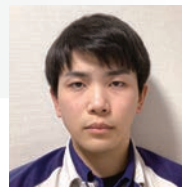
高橋 大介さん(1級)



- 1.社内全体で現場オペレーターの自主保全活動が推進されており、その一環として受験しました。
- 2.基本的には、公式テキストを熟読し、過去問題集を解いて、理解が弱かった項目を繰り返し解くことで理解を深めて行きました。
- 3.素晴らしい賞をいただき、ありがとうございます。とても嬉しく思います。自主保全士検定試験の学習で得た知識を職場で活かし、今後の活動に取り組んでいきます。

株式会社SUBARU

松本 竜征さん(1級)



- 1.社内で自主保全士の資格取得を推奨していたことに加え、所属する部署で様々な設備を取り扱いながら自身の保全知識が不足していたので、基本的な保全知識向上を目的に受験しました。
- 2.始めに公式テキストを読みました。読み終えた後、学科および実技問題集を解き、間違えた部分は公式テキストに戻って再確認し、理解を深めました。
- 3.このような素晴らしい賞をいただき、大変嬉しく思います。今回の自主保全士検定試験で得た知識を日々の業務に活かしていきたいです。

テイカ製薬株式会社

秋田 大輔さん(2級)



1. 会社側からの勧めもあったのですが、他の課員への模範にもなると思い受験を志願しました。
2. 過去問題集を重点的に取り組み、間違えた問題はテキストの関連項目を熟読、重要項目を書き出し徹底的に覚えました。
3. 成績優秀者に選ばれ、大変嬉しく思います。今後はこの知識を活かして、職場内設備機器の自主保全活動に取り組んでいきたいと思っています。

テイカ製薬株式会社

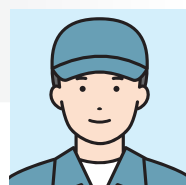
藤木 サオリさん(2級)



1. 会社から受験するように指示があり受験しました。
2. 公式テキストを読み終えてから、問題集と過去問に取り組みました。分からなかった問題は公式テキストを再読し理解できるまで繰り返し学習しました。
3. 受賞するとは思っていなかったので驚きました。学んだことを仕事に活かせるように日々精進していきたいと思っています。

東亜工業株式会社

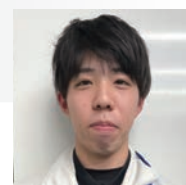
田部井 祐次さん(2級)



1. 社内での勧めもあり、TPM活動に取り組むうえで自主保全に関する知識と技能を身に付けたいと思い受験しました。
2. 公式テキストを使った社内勉強会があり、解説をもらいながら内容が理解できるまでテキストをよく読み返しました。過去問題集で誤答があればテキストで再度学習を繰り返し勉強しました。
3. 合格できることを目標としていたので、このような賞をいただけるとはとても光栄に思います。学んだことをしっかりと後進に伝えていくためにも公式テキストを片手に今後も学んでいきたいと思っています。

トヨタ自動車株式会社

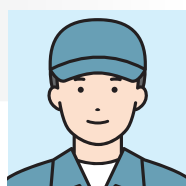
稲垣 広基さん(1級)



1. 社内での案内がきっかけとなり受験しました。製造現場から頼られる立場である保全マンの自分が、自主保全活動についての知識がないと意味がないと思い受験しました。
2. 過去問題集に出た内容を公式テキストにマークしたり、ポイントを書き込みました。自分なりに要所を抑えた公式テキストを何度も繰り返し読んで学習しました。
3. 折角受験するのだからと、「成績優秀者になる！」と目標を立てて取り組んできたので、大変嬉しく思います。名に恥じぬよう日々の業務に向き合いたいと思っています。

トヨタ自動車株式会社

田澤 瑞希さん(2級)



1. 自動車の電動化に伴い、新たなサービスをご提供するうえで自職場に新規設備が導入されていますが、保全コスト低減に取り組むにあたって保全知識の習得が必要と思い、受験を決めました。
2. 毎日少しずつテキストを読みながら、腹落ちしない項目は逐一自分で調べました。また、一緒に受験する先輩と各自の進捗を共有することで、モチベーションを保ちながら学習ができました。
3. 素敵な賞をいただき、ありがとうございます。受験を通して多くの学びがありましたが、自動車産業の変化や設備の進化によって今後保全に求められる知識や技能の領域が広がっていくと思うので、新たな領域にも積極的に踏み込んで自分のものにしていきたいと思っています。

トヨタ自動車株式会社

森 貴之さん(1級)



1. 計測器、設備を使うため、『設備に強いオペレーター』という自主保全の考えを学びたく、自己研鑽として同僚と一緒に受験しました。
2. 参考書3冊(公式テキスト、学科と実技過去問題集)を使い不明点がなくなるように意味を理解しながら学習を実施しました。
3. 成績優秀者を受賞することができ嬉しく思います。自主保全士検定試験のため学んだことに合わせ、これからもレベルアップを図り、仕事に活かしていきます。

トヨタ自動車株式会社
山内 英揮さん(1級)



1. 一昨年、自部署のTPM事務局となり自主保全士検定試験について調べると、過去にOJTで学び保全業務で実践してきた内容でしたが、体系的に学び直すことで経験を整理し、事務局として受験希望者に的確なアドバイスができるのではと思い受験しました。
2. 1級の受験でしたが2級の問題も含め過去問題集を繰り返し解きました。解けなかった問題は、公式テキストを読み保全業務の経験と結び付け理解を深めました。
3. 私の受賞をきっかけに自部署の仲間が自主保全士検定試験に関心を持ち、第二、第三の成績優秀者が現れ、職場の保全レベルが向上していくことを期待しています。私はTPM事務局から離れましたが保全以外の分野でも学ぶ姿勢を持ち続けます。

株式会社豊田自動織機
近藤 将太さん(2級)



1. 新型コロナウイルスの流行により、趣味が行えなくなりました。巣籠りで持て余している時間を自己啓発に活かしたいと考えていた時に、職制より自主保全士検定試験の話が展開され、いい機会だと思い挑戦することにしました。
2. 問題を繰り返し解くだけでなく、わからないワードはテキストやネットを利用し徹底的に調べ、なぜその答えなのかを説明できるほど理解、納得し問題を解くことを念頭に勉強してきました。
3. とても嬉しいです。これも自分の努力が報われた結果だと思います。しかしまだ自主保全士2級…。次の自主保全士1級を受験する際も、成績優秀者の受賞を目指して頑張ります。

日産自動車株式会社
鈴木 謙太郎さん(1級)



1. 近年職場で自主保全士を中心としたTPM活動を積極的に取り入れており、活動を推進していく立場として、活動の考え方や、やり方を学ぶために受験しようと思いました。
2. 『自主保全士検定試験 公式テキスト』と『学科/実技過去問題集』の本を購入して、試験日1ヵ月位前から日々少しずつ勉強し理解していききました。
3. どうせやるならしっかり学びたかったことと、とにかく試験に落ちないように準備をして臨みましたが、成績優秀者として表彰していただけるのは非常に驚いています。成績優秀者として恥ずかしくないように、学んだことを活かし職場でのTPM活動を活性化させていきたいと思っています。

トヨタ自動車株式会社
土肥 洋範さん(1級)



1. 監督者として、部下に正しい知識、技能を指導したい。今まで培った知識、技能に抜け、漏れ、誤りがないかを確認したいと思い受験しました。
2. 公式テキスト、過去問題集を繰り返し学習しました。出題範囲が広いので、公式テキストの精読、理解に重点を置いて学習しました。
3. 驚き喜びとともに、成績優秀者として相応しい振る舞いが求められていると考ええると身が引き締まる思いです。微力ではありますが、自主保全を職場に定着させるために邁進して参ります。

株式会社豊田自動織機
森 祥真さん(2級)



1. 仕事で活用でき、また資格取得を目指し勉強することにより、自身の成長に繋がる資格でしたので受験しようと思いました。
2. 勉強しようと思ったときに満足するまで過去問題を解き、わからないことや用語などがあればすぐに公式テキストなどで調べノートにメモし覚えめました。
3. 今回、成績優秀者受賞ということでとても嬉しく、また資格取得を通して自身の成長を感じることができました。今後様々なことを学び自職場をより働きやすい職場にするため頑張りたいと思います。

日産自動車株式会社
堀 康行さん(2級)



1. 職場でTPM活動を活性化する目的で教本を配布していただいていたので、結果を出そうと思い受験しました。
2. 実技過去問題集、学科過去問題集、公式テキストの3冊を購入し、毎日1時間と決めて取り組みました。また、インターネットで予想問題集などの過去問題事例も参考にさせていただきました。
3. 今回、合格できて良かったです。更に次へのステップとし自主保全士1級の合格を目指して頑張りたいと思います。

日星電気株式会社

田嶋 芳幸さん(2級)



1. 生産設備の導入・生産工程の構築を主な業務とする生産技術者として、今後業務を進めるにあたり、良いヒントがあるのではと考え受験しました。
2. 公式テキストと過去問題集を購入し個人で学習しました。
3. 成績優秀者という名誉な賞をいただき、誠にありがとうございます。
昨今のコロナ感染者数を勘案すると、表彰式典の中止はやむを得ない状況ですが、残念でなりません。『生涯勉強』今後も自己研鑽を怠ることなく続け、日本の製造業の更なる発展のため、尽力していきたいと考えています。

日本ガイシ株式会社

竹中 雅文さん(2級)



1. 業務で保全に携わることがあるが、分からないことが多くありました。
2. 以前から保全には興味があり、保全知識を向上させたいと思い受験しました。
JIPM開催の受験準備講座を受講し、基礎知識を学び、その後、公式テキストを一通り読み直し、学科と実技の過去問題集を複数回実施しました。
3. 過去問題集で間違えたところを重点的に公式テキストを見直し、復習しました。
成績優秀者として表彰されたことは大変嬉しい。今回得た知識を日頃の業務で活かしていくとともに、更なる知識向上に向け、1級合格も目指していきたいと思っています。

ヒノデメタル株式会社

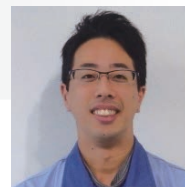
田村 優さん(2級)



1. 今回受験をしたきっかけは、上司から「自主保全士検定試験は現場のオペレーター向けの資格なので受けてみないか」との勧めがあり、私自身少し興味もありましたので、受験することにしました。
2. おもに過去問題集を反復し解くことで学習しました。加えて公式テキストと学科実技過去問題集を中心に、他にもインターネットから過去問題なども活用し、繰り返し解いていきました。過去問題集には解答欄に解説が記載されているので、それを良く理解するよう努めました。
3. 今回の受賞は大変励みになりました。学んだことを、今後も職場で実践していきたいと思っています。

日本製鉄株式会社

中村 真理さん(1級)



1. 職場で自主保全士取得を推奨していることに加え、自分自身、設備に関する知識が不足していると感じていたため、スキルアップを目的とし受験しました。
2. まず過去問題から取り組み、分からない所は公式テキストで補強、また過去問題へと繰り返し勉強しました。また、職場でも講習会を開いてくださり勉強のサポートをしていただきました。
3. このような賞をいただき誠に嬉しく思います。今回の勉強で得た知識を十分に活用し、職場に貢献していきたいと思っています。

日立金属ファインテック株式会社

阿部 真起さん(2級)



1. 会社の方針で自主保全士取得を目指しており、今回、推薦していただいたこともあり受験しました。
2. 朝、1時間早く出勤して仕事前に公式テキスト、過去問題集を繰り返し読みました。終業後は社内で開催される講習会に参加しました。社内の講習会では要点などを親切、丁寧に教えていただきました。
3. この度は、成績優秀者に選んでいただき大変嬉しく思います。勉強したことを仕事に活かせるよう努めて参ります。また、スキルアップのため、今度は自主保全士1級にチャレンジしたいと思います。

富士フイルム静岡株式会社

木村 直樹さん(2級)



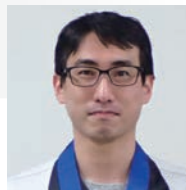
1. 職場内で自主保全士の資格取得が推進されている中、上司の勧めもあり自身のレベルアップに繋げるチャンスと考え受験を希望しました。
2. 合格ラインではなく、100点を目指して勉強に取り組みました。過去問題を活用し、間違えた所や自信のない部分はテキストを読み込み、それでも足りないと感じた部分は、上司や同僚と実際の事例に置き換えて考え理解を深めました。
3. 素晴らしい結果を出せて、大変光栄に感じています。今後、深めた知識を自身の業務に活かしていくのはもちろんのこと、今回のように高い目標を設定して大きな成果に繋げ、周囲を牽引し自主保全活動を盛り上げていけるように励みたいと思います。

株式会社マस्या
中村 友香さん(2級)



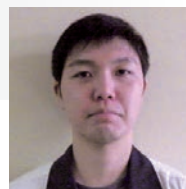
1. 会社から受験することを勧められ、普段オペレーターをしているのでもっと設備についての知識を増やしたいと思い受験しました。
2. 公式テキストを読み、その後過去問題集を解きました。わからなかったところは、もう一度公式テキストを読んで内容をしっかり理解するようにしました。
3. 成績優秀者に選ばれてとても嬉しく思います。今後は学んだことを日々の業務で活かしていきたいと思っています。

マツダ株式会社
外崎 裕也さん(1級)



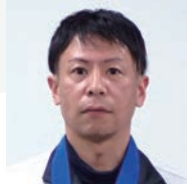
1. 自職場のラインが生産を開始してから長い年月が経っており、今後、自主保全活動が重要になってくると考え、知識・技能を高めるきっかけにしようと思い受験しました。
2. 職場での自主保全活動が活発に行われているため、実践しながら理解する部分もありました。また、練習問題で解けなかったものについては、それだけを覚えるのではなく、それに関わる周辺知識を覚えることで理解を深めました。
3. 試験合格に満足することなく、更に知識を身に付け設備の故障ゼロをめざします。自分一人の力では故障ゼロを達成できないので、職場メンバー全員で知識・技能を高めるよう努力・協力します。

株式会社ミットヨ
荒川 和樹さん(2級)



1. 自分が普段作業している機械の構造や動作の原理を学び、得た知識を自職場の保全や改善に活かすために受験しました。
2. 試験日1ヶ月前から公式テキストを利用し、短い時間で復習と新しいところを読むのを繰り返す勉強を行いました。試験日1週間前から過去問題集を解き始め、間違ったところや悩んだところの確認で再度公式テキストを読み直しました。
3. 結果が出たときは驚きました。自職場で自主保全士の知識を活用する場を設けていただけたので、学んだことを十分に発揮し職場の発展に努めていきます。また、更に深く知識を付けより良い活動をするために、自主保全士1級に挑戦します。

マツダ株式会社
兼外 寿さん(1級)



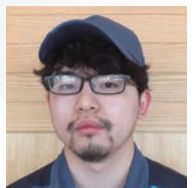
1. 弊社の製造部門では自主保全活動を通じて人財育成と生産性の向上を行っています。活動を円滑に進めるには、自主保全に必要な知識を体系的に学び理解したうえで実践していくことが大切だと思い、自主保全士検定試験を受験しました。
2. 基本的な学習は公式テキストで行い、次に過去問題集を解き理解が浅い部分は公式テキストを読み直すとともに、自職場において現場・現物で確認して理解を深めました。一緒に受験する職場の仲間と声を掛け合い切磋琢磨しながら学習をしました。
3. 成績優秀者に選ばれ光栄に思います。今後も目標を立て愚直に努力し、全員参加の自主保全活動を進め『自分の設備は自分で守る』を職場一丸となって実践していく所存です。

マツダ株式会社
福重 明弘さん(2級)



1. 職場内のあらゆる場面にて改善活動に携わっていく中で、自主保全の基本的な考え方と実践方法を習得したいと思い、受験させていただきました。
2. 基本的なことは公式テキストで学習し、過去問題集を繰り返し解きながら理解度を深めていきました。
3. この度はこのような名誉ある賞をいただき、誠にありがとうございます。まさか自分が受賞するとは夢にも思っておらず、正直驚いています。今後も実務を通じて継続的な職場改善と人財育成に貢献していきたいと思っています。

YKK株式会社
石塚 礼一さん(2級)



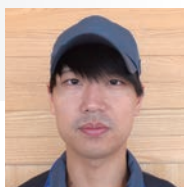
1. 資格を通じて、実務の基礎知識を身に付けたいと思っており、上司に相談したところ自主保全士検定試験を勧めいただきました。内容を調べ実務に直結すると感じたので、受験することに決めました。
2. 参考書を熟読し、参考書や問題集で不明な点は放置せず、その場で解決するように努めました。また、毎日30分程度勉強する時間を設けることが重要だったと感じています。
3. 小さな努力も積み重ねれば大きな成果となることを実感できました。成績優秀者に選出されたことは、大きな自信に繋がったので、今後も向上心を持ち、知識と経験を深め自主保全士1級へ挑戦したいと思います。また、今回得た知識を職場や会社へ広げていきたいと思っています。

YKK株式会社
宝田 勇真さん(1級)



1. 業務が生産から保全担当に変わったので、基礎的な知識を習得しスキルアップしたいと思い受験しました。
2. 公式テキストを一通り読んだ後、過去問題集を解き続けました。苦手な分野は公式テキストで再度勉強し直し理解を深めました。
3. 成績優秀者に選出していただいたことは大変光栄に思います。今回学んだことを設備保全やTPM活動に活かしていきたいと思います。また、職場内で自主保全士の資格取得を推奨し、設備に強いオペレーターを増やしていきたいと思います。

YKK株式会社
森 敏洋さん(2級)



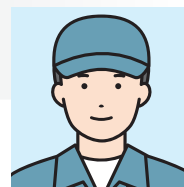
1. 会社の業務にて取得が必要であり、TPM活動など工場での改善活動の基礎を身に付けるため受験しました。
2. 合格に向けた取り組みとして、過去問題集を解き、わからない問題は公式テキストを確認して必要な知識を身に付けました。問題を解いてどういった問題が出題されるか知っておくことが大切だと思いました。
3. 今回はこのような賞をいただいたことに関して非常に嬉しく思います。今後は自主保全士検定試験で学んだことを実際に業務として活用していきたいと思っています。

株式会社GSユアサ
長谷中 快吏さん(2級)



1. 会社で取得する必要があったので受験しました。また、TPM活動につながるのだと思い受験しました。
2. 参考書を何回読み直し、過去問は3~4年前のものを集中的にしました。過去問で間違えた問題は参考書をみて内容を理解してから、もう一度解きました。また、よく出題される問題を確認し出題範囲の問題を何回も解きました。
3. 成績優秀者を受賞でき嬉しく思います。今回の受験で自主保全について理解を深めることができたので、より深い知識を身に付けて次は自主保全士1級を合格できるように努力します。

YKK株式会社
松井 隆之さん(1級)



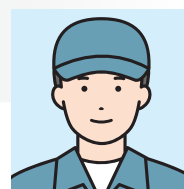
1. 業務でファスナーの商品開発を担当しており、開発中に試作機を使用することが多く、機械の保全が必要となります。保全不足で試作機を動かすと本来の性能が出せないこともあるため、保全知識を習得し、保全をより向上させ、開発に活かすことが受験した目的です。
2. 公式テキストを読み、過去問題集を繰り返し解くことで学習しました。また、公式テキストに出てくる内容を日頃の職場での体験に結び付けるよう意識付けすることで、より理解を深めました。
3. 自主保全士成績優秀者となり嬉しく思います。今後は、今回自主保全士検定試験を受けることで学んだ知識を職場の中でも自ら実践し、周りに働きかけることを意識していきたいと思っています。

理研ビタミン株式会社
徳山 彰一さん(2級)



1. 上司からの勧めもあり、自分自身の知識を向上させたいと思ったのがきっかけです。職場内の設備トラブルやそれに起因する品質異常を少しでも削減し、改善したいと思い受験しました。
2. 公式テキストの読み込みと過去問題集を繰り返し解きました。間違えた問題については、再度テキストを見直したり、補足知識は、インターネットで調べたりしながら学習しました。
3. 成績優秀者を受賞することができ、大変嬉しく思います。今回学習した『自分の設備は自分で守る』という強い意識を持ち続け、学んだ知識を活かして、後輩の育成や職場環境の改善に役立てていきたいと考えています。

大日精化工業株式会社
本庄 裕基さん(2級)



1. 社内的に自主保全の重要性の声が高まり、私が所属している技術部門においても受験希望者を募ったのがきっかけになります。日頃業務を行う中で自主保全の重要性を感じていたため、良い機会だと思い受験を希望しました。
2. 社内で週一回開催された勉強会に参加し、出題の傾向を学びました。また自宅でも公式テキストの重点をノートにまとめることで知識の定着を図りました。
3. 大変光栄に思っております。今回受賞できたのは社内で開いていただいた勉強会のおかげでもありますので、自分自身も今回学んだことを後輩たちに伝えていけるよう一層努力していきます。

大日精化工業株式会社

山崎 悠佑史さん(2級)



1. 会社で受験者を募集しているのを聞き、自らの業務にも活かせると思い受験しました。
2. 社内で開催していただいた勉強会に参加し、要点を把握したのち、参考書の内容を自分なりにまとめていきました。各章が終わるごとに過去問題集を解き、間違えたところを再度学習し、完璧になるまでこれを繰り返し行うことで理解を深めていきました。
3. まさか自分が成績優秀者を受賞できるとは思っていませんでしたので大変嬉しく思います。何より、サポートしてくださった会社や同僚の皆様のおかげだと思います。今後も学んだことを業務に活かしていければと思っています。

大同特殊鋼株式会社

井手 優裕さん(1級)



1. 会社の方針で自主保全士検定試験の受験を推奨していることに加え、製造オペレーターとしての基礎知識をしっかりと学ぶために受験しました。
2. 会社内で実施している講習を受講すると共に、自主保全士検定試験の過去問題集とテキストで繰り返し学習し勉強に励んできました。
3. 自主保全士1級を受けるにあたり、「成績優秀者になる!」という目標を立てて勉強に取り組んでいました。その結果、目標を達成することが出来て非常に嬉しく思います。今回得た知識を今後の自主保全活動へ活かしていきたいと思っています。

株式会社ブリヂストン

中村 龍二さん(1級)



1. 当初は職長の勧めで仕方なく受験することとなりましたが、後々自身のためになると思い直し、受験しました。
2. 約1ヶ月間、1時間ほどを使って毎日テキストと過去問題集をノートに写し続け、全問正解出来るようになるまで繰り返し学習しました。
3. 不合格になって職場内で恥をかかずに済み、本当に良かったと胸をなでおろしています。「自主保全士」が今後何かの役に立てば幸いです。

株式会社ベルソニカ

高柳 肇太さん(2級)



1. 会社の取り組みとして自主保全士の資格取得を掲げていたことが受験をしたきっかけです。自職場でも自主保全活動を推進していく立場として必要な知識を習得しなかったという思いもありました。
2. 設備保全を担当する部門が開催した研修に参加し、教育資料を自分でも勉強をしました。過去問を解くことで、苦手なところを洗い出し、重点的に勉強しました。
3. 成績優秀者を受賞できると思っていませんでしたので、とても嬉しいです。得た知識を活かして、自社の自主保全活動に貢献していきたいと思っています。

高山 遥さん(2級)



1. 職場で自主保全士検定試験があると聞き、勉強の一環として受験しました。
2. 公式テキストを一通り読んで自主保全全体を把握し、過去問題集で問題練習を繰り返し行いました。
3. 成績優秀者に選んでいただきとても嬉しいです。この賞を受賞できたことに誇りを持ち、職場での自主保全をより良くしていけるように努めていくと同時に、1級もチャレンジしたいです。



2021年度

日本プラントメンテナンス協会
自主保全士事務局

自主保全士検定試験 実施報告

01 今年度の実施状況

日本プラントメンテナンス協会は、2021年10月24日(日)に第21回自主保全士検定試験を実施した。今年度の受験申込者数は、13,520人であり、主要都市ならびに全国各地の企業会場で開催した。認定(合格)者数は、1級2042人、2級4691人で、合計6733人となった(図表-1)

図表-1 申込者数、受験者数、認定者数

単位:人

	1級	2級	合計
申込者数	4,528	8,992	13,520
受験者数	4,161	8,293	12,454
認定者数 (合格者数)	2,042	4,691	6,733

02 今年度の出題について

自主保全士検定試験は、正誤判定式(二択)の学科試験、多肢選択式の実技試験からなる。学科試験、実技試験ともに①生産の基本、②設備の日常保全(自主保全全般)、③効率化の考え方とロスの捉え方、④改善・解析の知識、⑤設備保全の基礎の5科目から出題*1している。学科・実技の試験結果については、図表-2~5に示すとおりである。

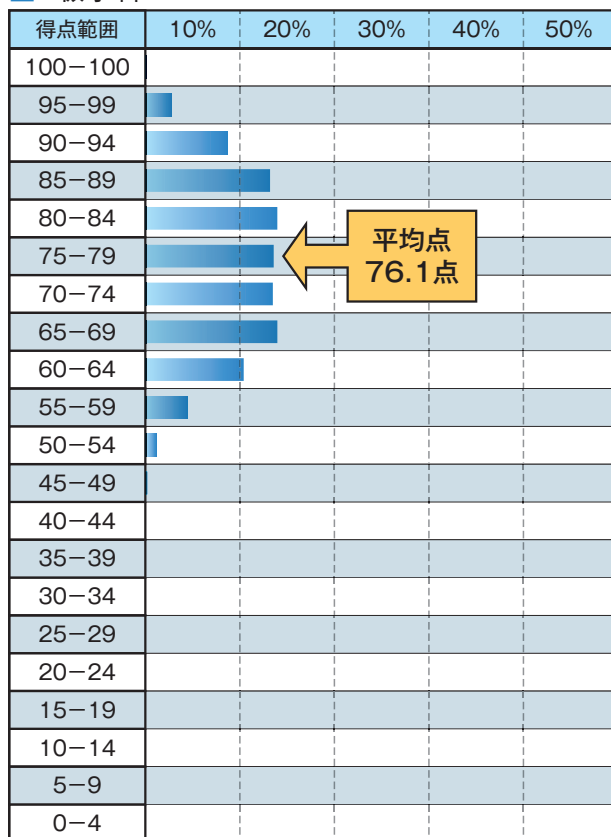
図表-2 学科試験の科目別出題数および正答率

科目	1級		2級	
	出題数(問)	正答率(%)	出題数(問)	正答率(%)
①生産の基本	24	75.1	24	84.8
②設備の日常保全(自主保全全般)	18	84.1	18	77.3
③効率化の考え方とロスの捉え方	24	71.4	24	71.1
④改善・解析の知識	10	73.2	10	77.5
⑤設備保全の基礎	24	76.5	24	75.5
計	100	76.1	100	77.2

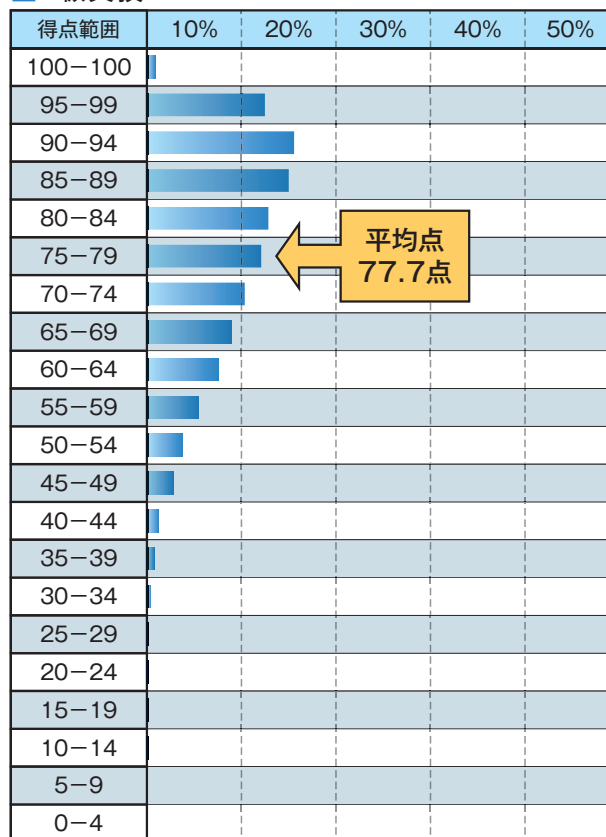
*1) 自主保全士検定試験の出題に関しては公式サイトにて公開
<https://www.jishuhozenshi.jp/about/> の出題範囲(科目・項目・細目)

図表-3 得点分布および平均点

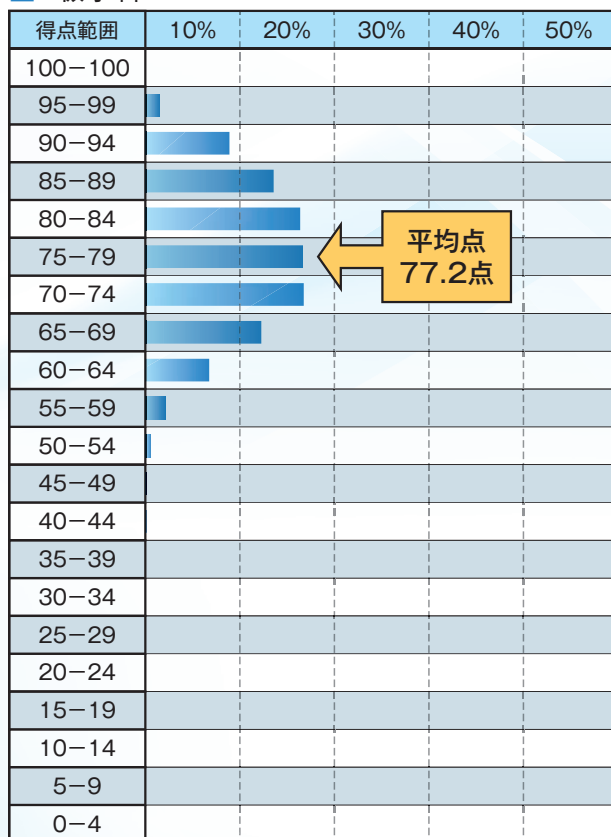
■ 1級学科



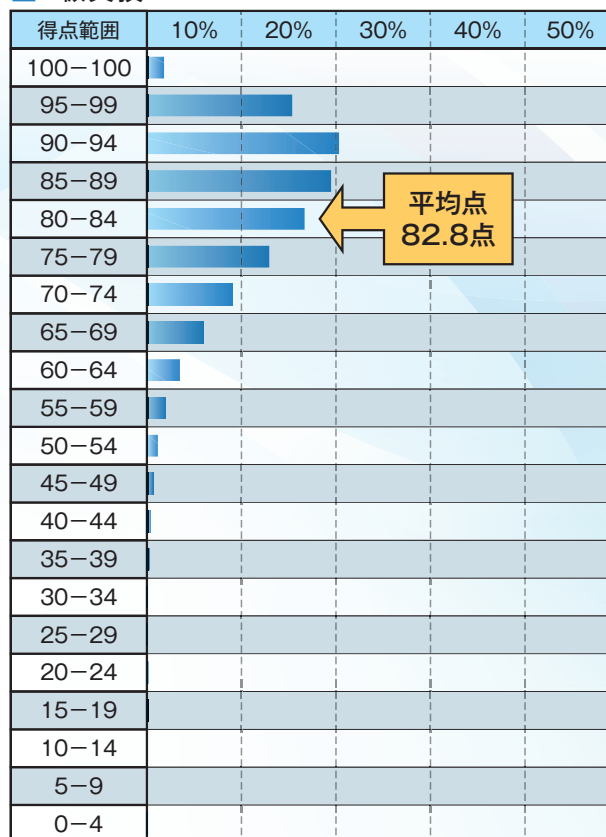
■ 1級実技



■ 2級学科



■ 2級実技



図表-4 学科試験における正答率の低い問題(ワースト5)

■ 1 級

No.	問題文	正答	正答率(%)
1	労働者の日常の業務や勤務の条件は、労働安全衛生マネジメントシステムで規定されている	×	37.2
2	一般的なM型ノギスでは、100分の1ミリメートル単位で長さの測定が可能である	×	41.0
3	ゼロ・エミッションとは、「公害ゼロ」の生産システムの構築を目指すものである	×	42.8
4	速度稼働率(%)は、次の式で求められる 速度稼働率(%) = $\frac{\text{実際サイクルタイム}}{\text{基準サイクルタイム}} \times 100$	×	43.4
5	MTTRは、故障してから次の故障が起きるまでの時間の平均値である	×	50.3

■ 2 級

No.	問題文	正答	正答率(%)
1	速度稼働率(%)は、次の式で求められる 速度稼働率(%) = $\frac{\text{実際サイクルタイム}}{\text{基準サイクルタイム}} \times 100$	×	32.1
2	故障強度率とは、故障のために設備が停止した時間の割合を表すものである	○	45.6
3	時間基準保全(TBM)は、設備診断技術によって設備の劣化状態を観測、もしくは予知して保全タイミングや方法を決定する方式をいう	×	48.2
4	自主保全においてオペレーターに求められる4つの能力の1つに、時間管理能力がある	×	48.5
5	ラインバランス分析は、製品の出荷量に対する在庫量のバランスが適切かどうか分析する手法である	×	50.3

図表-5 実技試験 出題課題と正答率

■ 1 級

※配点については非公開

No.	課題名	正答率(%)
1	KYT(危険予知訓練)	70.8
2	QC手法・新QC手法	71.8
3	初期清掃	88.0
4	発生源・困難個所対策	84.6
5	設備／プラント総合効率	75.0
6	故障ゼロの考え方	86.8
7	PM分析	68.9
8	作業改善のためのIE	78.6
9	油圧	79.5
10	図面の見方	82.1

■ 2 級

※配点については非公開

No.	課題名	正答率(%)
1	作業の安全	99.0
2	5Sに関する知識	90.3
3	自主保全活動支援ツール	85.7
4	発生源・困難個所対策	75.6
5	設備／プラントの効率化を阻害するロス	72.4
6	故障ゼロの考え方	83.0
7	QCストーリー	87.5
8	作業改善のためのIE(改善のECRS)	87.1
9	検出機器(センサー)	78.3
10	図面の見方	84.2





資格認定 設備に強いオペレーター

自主保全士検定試験

自主保全士

が土台となって

変わる

20年以上の試験実績

累計32万人
の利用者数



企業の活用事例等は公式サイトに掲載中
<https://www.jishuhozenshi.jp/>

設備が変わる

自主保全活動を行うことで、
不具合の発生しない
きれいな設備になります。

人が変わる

自主保全活動を行うことで、
オペレーター1人ひとりの
考え方や意識・行動が
変わります。

現場が変わる

自主保全活動を行うことで、
生産性の高い
最適な職場体質に
変わります。

第22回（2022年度）自主保全士検定試験は、下記のとおり実施いたします。

● 試験日：2022年10月30日（日） ●

受験申込み期間：2022年7月4日（月）▶ 8月19日（金）17時まで

※詳細のスケジュールは、公式サイト・受験案内にて公開中

受験手数料

1級：9,350円（税込）

2級：7,200円（税込）

※お支払方法により別途手数料が必要です

受験資格

1級：実務経験4年以上

2級：実務経験0年（不要）

※実務経験について
生産・製造・保全などの業務に直接従事・支援した年数。
過去の実務経験年数を合算することも可。



公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会

Japan Institute of Plant Maintenance



「自主保全活動」とは、オペレーター1人ひとりが自分の使っている設備を管理でき、設備の正しい姿を維持する活動です。そのためには、自分の設備を自分で守る、いわゆる「**設備に強いオペレーター**」が現場に必要です。

オペレーターは、オペレーションのみではなく、保全の知識を身につけることで迅速な異常発見や簡単な修理・改善ができるようになり、重大な故障を未然に防ぐことができるようになります。

この能力を身につける効率的な手段が「**自主保全士認定制度**」です。

自主保全士 が 現場 を変える

「設備」が変わる

自主保全士取得のメリットは、設備の専門家に任せず、自分の設備は自分がしっかり守るという意識が定着したこと。

その結果、設備がいかに止まらないようにするか、故障の未然防止はどのようにすれば良いかという意識が芽生えた。

その結果、不具合の発生しないきれいな設備になりました。

(自動車系：T社)



「人」が変わる

当初の自主保全士取得は、製造部門のみだったが、技術部門やアルバイトにも受験対象を拡大。

自主保全士の有資格者が増加するにつれて、一人ひとりの専門用語への理解が深まり、技術的な専門用語を含めた会話ができるように。部門を跨いだ専門用語の共通化によりコミュニケーションアップ！

(非鉄金属系：R社)

「現場」が変わる

自主保全士は、検定合格だけでなく、高得点取得の上位者による成績優秀者の表彰式典を開催。

成績優秀者になった社員は、現場の人材育成に自信がつき、また、周囲からは受賞を境にさらに頼りになる人材になったとの声も。現場の人材育成の環境を良くするためにも成績優秀者の受賞を目指します。

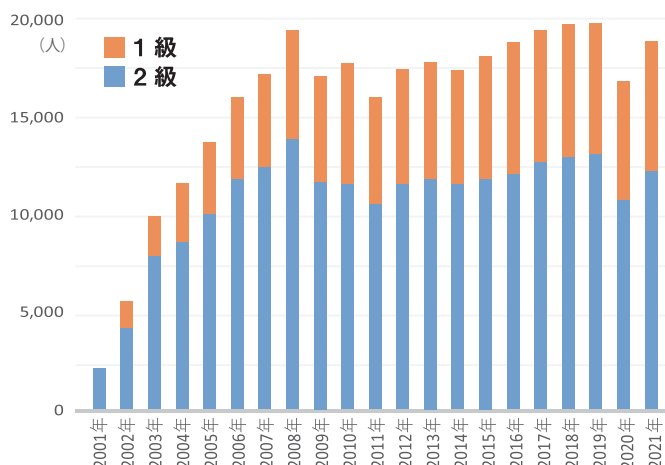
(食料品系：M社)



20年以上の試験開催 と 幅広い製造業での利用実績

■ 2001年から現在に至る21年の試験実績

■ 累計利用者数 32 万人以上の利用実績

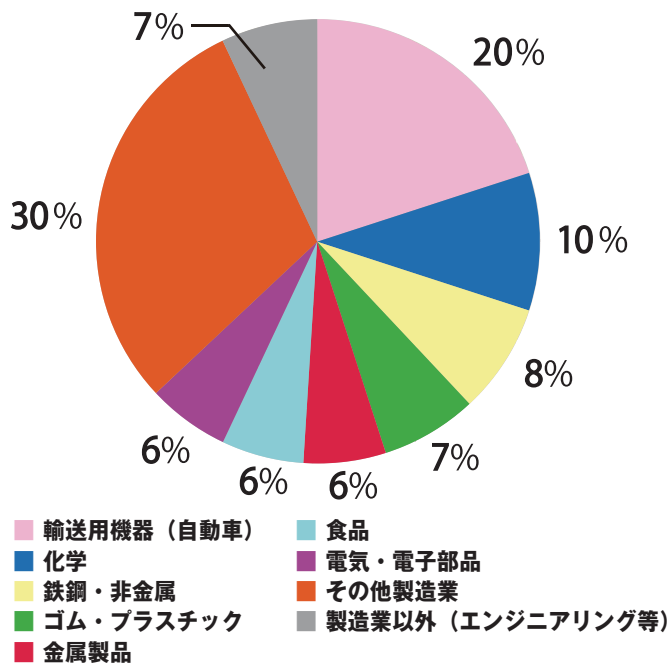


級別申請者の推移

(検定試験、オンライン試験、通信教育の合計)

■ 毎年 450 企業・団体 での活用実績

■ 累計認定者数 20 万人以上の製造現場への輩出実績



業種別傾向

自主保全士検定試験受験準備講座

2022年度試験対応版



準備講座のメリット

選べる受講スタイル

集合/ライブ配信/オンデマンド
から選択し受講可能

今年度出題範囲に対応

本年度の出題予定の範囲のみ
抽出し解説

出題傾向の把握

過去問題を学習することで、
試験の出題傾向を把握

ワンポイントアドバイス

課題ごとに特に学習すべき
要点をアドバイスします

2022年度試験は10/30(日) 予定

◆集合・ライブ配信セミナー “直接質問、臨場感のある受講”

第1回	8/29(月)～30(火)	2級	集合	定員30名
第2回	9/5(月)～6(火)	2級	ライブ配信	定員なし
第3回	9/8(木)～9(金)	1級	集合	調整中
第4回	9/15(木)～16(金)	1級	ライブ配信	定員なし
第5回	9/28(水)～29(木)	2級	集合	定員30名
第6回	10/3(月)～4(火)	2級	ライブ配信	定員なし

集合会場：名古屋大同生命ビル ライブ配信システム：Zoom

◆オンデマンドセミナー “時間や場所を問わずに繰り返し学習”

1級講座 7月中旬 リリース予定 ※視聴期間：申込み～2022年11月下旬

2級講座 7月中旬 リリース予定 ※視聴期間：申込み～2022年11月下旬

オンデマンドシステム：協会専用システム使用

お問い合わせは
こちらまで

TEL 03-6865-6081

E-Mail SEMINAR@jipm.or.jp

(公社)日本プラントメンテナンス協会
普及推進部

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-3 神保町SFⅢビル5階

<コース概要>

2022年度自主保全士検定試験に対応した準備講座です。

検定試験を受験予定であるが、「どこから勉強すればいいかわからない」「答えの暗記ではなく、現場でも使える形で知識をつけたい」など、試験準備だけではなく、現場でも役立つ情報を取得したいという要望にも応える講座を目指します。

<使用テキスト>

①自主保全士受験準備講座オリジナルテキスト(JIPM発行)

②自主保全士検定試験公式テキスト(JMAM発行)
(<https://pub.jmam.co.jp/book/b359277.html>)

※オンデマンドセミナーでは②は付属しません
推奨テキストですのでお手元にない方は、購入をご検討
いただきますようお願い申し上げます



①オリジナル
テキスト
(必ず付属)



②公式
テキスト
(集合・
ライブ配信のみ
付属)

<試験スケジュール>

内容	実施日程・期間
受験案内 (実技試験課題公開)	4/1(金)
団体申込用受験者名簿フォーム (Exele)ダウンロード期間	6/1(水)10:00～ 8/16(火)12:00まで
企業会場申請期間	7/4(月)10:00～ 8/16(火)17:00まで
受験申込み期間	7/4(月)10:00～ 8/19(金)17:00まで
団体申込み用請求書ダウンロード	9/9(金)10:00～
受験票発送	9/30(金)
試験日	2022/10/30(日) 開場 : 11:15 説明開始 : 11:30 試験時間 : 11:45～13:45
正答例の公開	11/4(金)
認定(合格)者発表	12/12(月)
結果通知・認定証書発送	12/23(金)

<集合セミナー会場案内>

名古屋大同生命ビル2階 研修室



JR、名鉄、近鉄地下鉄「名古屋」駅から徒歩7分
〒450-0002名古屋市中村区名駅 4-23-13 名古屋大同生命ビル2階

受験申込み規定・ご案内

1. 参加料 (1級・2級講座 共通)

(公社)日本プラントメンテナンス協会 (正会員、事業所会員) (一社)日本能率協会 法人会員	①集合・ライブ配信セミナー 26,400円/人(税込) (本体価格24,000円 消費税2,400円) ②オンデマンドセミナー 15,400円/人(税込)※ (本体価格14,000円 消費税1,400円)
一 般	①集合・ライブ配信セミナー 40,700円/人(税込) (本体価格37,000円 消費税3,700円) ②オンデマンドセミナー 22,000円/人(税込)※ (本体価格20,000円 消費税2,000円)

2. 参加申込み・参加料お支払い方法

- 当会HPの申込みフォームよりお申込みください
URL: <https://info-jipm.jp/seminar/>
電話でのお申込みは受け付けておりません
- 開催の2週間前より、派遣窓口ご担当者様宛に受付票と請求書を送付いたしますので、開催後1ヵ月以内に、当会指定の銀行口座にお振り込みください。
なお、振込手数料は貴社にてご負担ください

3. お願い・お断り

- 録音・録画に使用する機材の持込みをお断りいたします
 - ご参加予定の方が当日お越しにならない場合は代理の方がご参加ください。
代理の方の参加も不可能な場合は、下記の規程によりキャンセル料を申し受けますので予めご了承ください
- ※キャンセル申し込み方法はメールのみ(土日曜・祝祭日は、上記日数に 含まれません)
開催当日および前日の取消し: 参加料全額 開催の2日前～7日前の取消し: 参加料の30%

4. お申込み・講座内容のお問合せ先

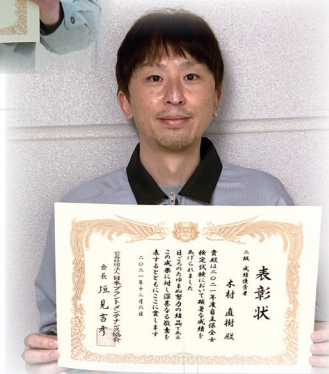
公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会 普及推進部
東京都千代田区神田神保町3-3神保町SFⅢビル5階
電話番号: 03-6865-6081 E-Mail: seminar@jipm.or.jp

■免責事項

天災地変や伝染病の流行、受講環境、輸送機関のサービスの停止、官公庁の指示などの当会が管理できない事由により研修内容の一部変更及び中止のために生じたお客様の損害については、当会ではその責任を負いかねます。

※公式テキスト(JMAM発行)を合わせてご購入の場合は
上記表示価格より+3,000円(税込み)となります
Amazonや楽天でも購入可能です

お申込みは当会HPから <https://info-jipm.jp/seminar/>



公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
自主保全士検定事務局

Email : jishuhozenshi@jipm.or.jp
<https://www.jishuhozenshi.jp>